

## 第4次総合計画 改訂版 素案（概要）

※あくまで第3回策定委員会時点（R4.11.16）の資料であり、  
素案については今後更に検討を深めていきます。

# I. 体系図 (素案p.1~2)

将来像

大綱	政策	施策
1 人権・市民自治	1 平和と人権を尊重するまちづくり	1 非核平和への貢献 2 人権の保障 3 男女共同参画の推進
	2 市民自治によるまちづくり	1 情報共有の推進 2 市民参画・協働の推進 3 コミュニティ活動への支援
2 防災・防犯	1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり	1 危機管理体制の充実 2 防災力・減災力の向上 3 消防・救急救命体制の充実
	2 犯罪を許さないまちづくり	1 防犯力の向上 2 消費者意識の向上
3 福祉・健康	1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり	1 生きがいづくりと社会参加の促進 2 暮らしを支える支援体制の充実 3 介護保険制度の安定的運営
	2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり	1 生活支援など暮らしの基盤づくり 2 社会参加の促進
	3 地域での暮らしを支えるまちづくり	1 地域福祉の推進 2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営
	4 健康・医療のまちづくり	1 健康づくりの推進 2 <u>公衆衛生の向上</u> 3 地域医療体制の充実 4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進
4 子育て・学び	1 子育てしやすいまちづくり	1 就学前の教育・保育の充実 2 地域の子育て支援の充実 3 配慮が必要な子供・家庭への支援
	2 学校教育の充実したまちづくり	1 学校教育の充実 2 学校教育環境の整備
	3 青少年がすこやかに育つまちづくり	1 青少年の健全育成 2 放課後の居場所の充実
	4 生涯にわたり学べるまちづくり	1 生涯学習活動の支援 2 生涯学習環境の整備

大綱	政策	施策
5 環境	1 環境先進都市のまちづくり	1 <u>脱炭素社会への転換の推進</u> 2 資源を大切に 社会システムの形成 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
	1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり	1 土地利用誘導と良好な景観形成 2 良好な住環境の形成 3 みどりの保全と創出
6 都市形成	2 安全・快適な都市を支える基盤づくり	1 道路などの整備 2 水道の整備 3 下水道の整備 4 交通環境の整備
	1 地域経済の活性化を図るまちづくり	1 産業振興と創業支援 2 就労と働きやすい環境づくりへの支援
7 都市魅力	2 文化・スポーツに親しめるまちづくり	1 文化の振興 2 文化財の保存と活用 3 地域におけるスポーツの振興
	3 市民が愛着をもてるまちづくり	1 魅力の向上と発信 2 本市独自の強みを生かしたまちづくり
	1 行政資源の効果的活用	1 効果的・効率的な行財政運営の推進 2 公共施設の最適化 3 人材育成の推進 4 ICTの利活用
<b>取組の視点</b>		
1 分野を超えた連携		
2 市民と行政との協働		
3 地域の特性を生かしたまちづくり		

実施計画

## II. 基本計画推進のために（素案p.3～7）

### 1. 基本計画の進行管理（修正なし）

- （1）PDCAサイクルによる進行管理
- （2）Check（評価）の考え方

### 2. 個別計画による各分野の取組の推進（計画名称の時点修正）

### 3. 財政運営の基本方針

#### （1）財政運営の基本方針（修正なし）

#### （2）目標

①市民ニーズに柔軟に対応できる財政構造を維持します。

経常的な収入に対して、義務的経費（扶助費、人件費、公債費）などの固定的な費用が占める割合が高まると、財政構造の弾力性が乏しくなり、社会経済状況の変化に対応した本市独自の取組を行う余裕がなくなります。市民ニーズに柔軟に対応できる財政運営を行えるよう、効果的・効率的に事業を実施するとともに、事業の選択と集中を図り、弾力性のある財政構造の維持に努めます。

◆ 経常収支比率 95%以下（令和3年度 93.9%）

②継続して安定的な財政運営を行うための備えを確保します。

経済状況の変化による収入の減少、災害や感染症の発生等の不測の事態に伴う支出の増加などに対応し、継続して安定的な財政運営ができるよう、財政調整基金（年度間の財源の不均衡を調整するための基金）の確保に努めます。

◆ 財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合 20%を確保（令和3年度 16.4%）

③将来世代への過度な財政負担を抑制しながら、本市の魅力の維持・向上を図るための必要な投資を行います。

今後、公共施設の老朽化対策を行いながら、本市の魅力や強みが増すようなまちづくりを進めるための投資を進めていく必要があります。そのような中でも、将来世代に過度な財政負担を残さないよう、適正な市債管理に努めます。

◆ 公債費比率 10%以下（令和3年度 7.5%）

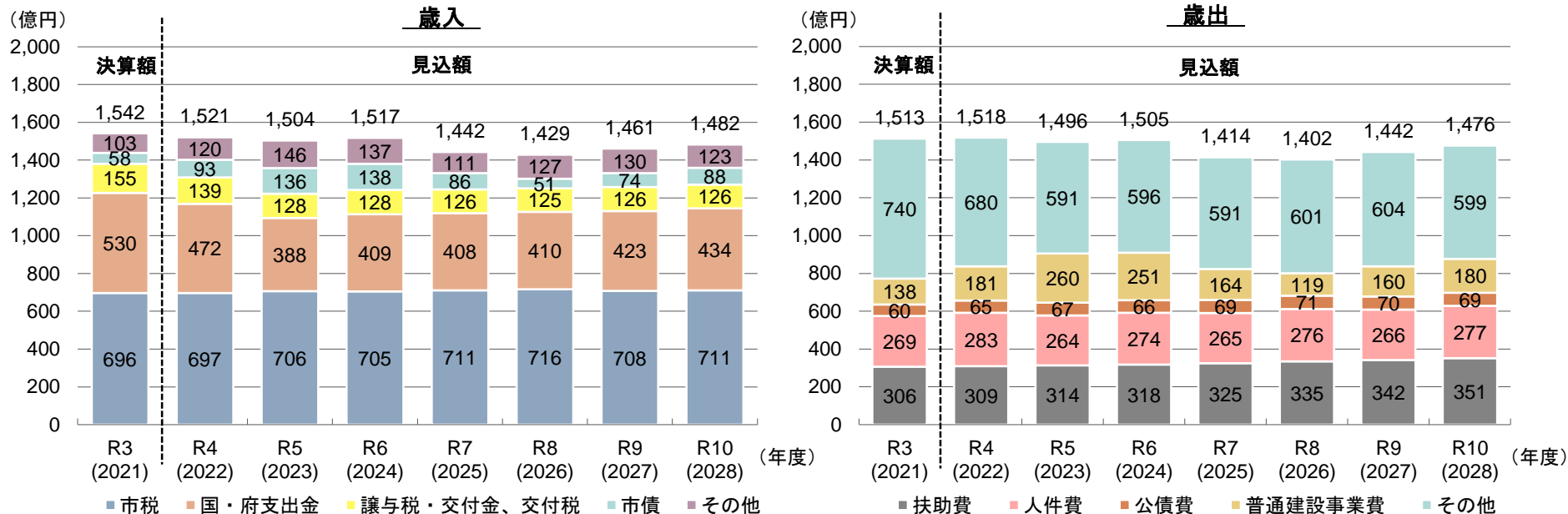
◆ 市債残高の標準財政規模に対する割合 100%以下（令和3年度 70.1%）

◆ 赤字地方債の発行は、極力抑制（令和3年度 発行なし）

### (3) 収支見通し（試算）

今後の財政運営の参考とするため、**令和10年度（2028年度）**までの財政収支について試算しました。

試算にあたって、地方財政制度や社会保障制度などの将来的な制度変更を予測するのは困難であるため、原則、現行制度が今後も継続するものと想定し、将来人口の推計や過去の実績などを踏まえました。



(億円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
差引額（歳入合計－歳出合計）	29	3	8	12	28	27	19	6
補てん額 財政調整基金の繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時財政対策債発行額	0	0	0	0	0	0	0	0
補てん後の差引額	29	3	8	12	28	27	19	6

# Ⅲ. 政策・施策（素案p.8～45）

## 大綱 1 人権・市民自治

### 政策 1 平和と人権を尊重するまちづくり



現状と課題	修正なし
施策	1-1-3 男女共同参画の推進 所管に総務部を追加
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	【目標値の見直し（下方修正）】 平和祈念資料館の年間利用者数 5万人（6万人）
R1以降のトピックス	・ウクライナ避難者の受入れ、総合支援窓口の設置

#### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
人権意識が向上していると思う市民の割合	21.7%	36.1%	30%
男女がともに個性や能力を発揮できている社会になってきていると思う市民の割合	30.8%	37.1%	50%

※R10目標を上方修正  
( )内は現行計画の目標

#### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	57.4%	33.0%	8.8%
市職員	70.6%	25.6%	3.8%

#### ●市民意識指標

市民総務室にて4年に1回実施している市民意識調査の回答。

#### ●目標への評価（R4）

市民、職員向けに政策ごとに掲げる目標（めざすまちの姿）に近づいているかについて尋ねたアンケート調査の回答。

# 大綱 1 人権・市民自治



## 政策 2 市民自治によるまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動に対する関心の低下について追加 (ネットワーク型の活動の拡大、地域活動の形態の多様化)</li> <li>自治会加入率低下の理由を追加 (社会全体の利便性の向上、コミュニケーション手法の変化等)</li> </ul>
施策	1-2-1 情報共有の推進 「市が保有する個人情報について適切な取り扱いを確保し」を追加
施策指標 ( ) 内は現行計画の指標・目標	<b>【目標値の見直し(上方修正)】</b> 市のホームページの閲覧者数(月平均) 50万人(20万人)  <b>【新規追加(現行指標への補足指標)】</b> 過去一年間に一度以上、地域活動に参加したことがある市民の割合 50%
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における自治会活動や市民公益活動の支援</li> </ul>

### 市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4 (速報値)	R10目標
市報すいた、ケーブルテレビ、ホームページなど、市が発信する情報に満足している市民の割合	25.9%	39.0%	41%
何らかの機会を通じて市政に参画したことがある市民の割合	4.0%	2.9% (H30)	8%

### 目標への評価 (R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	37.9%	46.3%	14.8%
市職員	50.9%	37.2%	11.9%

# 大綱 2 防災・防犯

策定後の主な動向  
2 災害の頻発



## 政策 1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備えや対応として、危機管理センターの整備などこの間の具体的取組を追加</li> <li>・地域防災力・減災力の向上に向けた、地域における若者・女性の参画について追加</li> </ul>
施策	<p>2-1-1 危機管理体制の充実 業務継続計画、受援計画に基づく取組を追加</p> <p>2-1-2 防災力・減災力の向上 若者や女性などの参画促進の取組を追加</p> <p>2-1-3 消防・救急救命体制の充実 年々増加する救急出動件数への対応を検討</p>
施策指標 ( ) 内は現行計画の指標・目標	<p>【目標値の見直し（下方修正）】</p> <p>消防団員数 190人（250人）</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部消防庁舎等複合施設（南千里駅前に建設）の開設、消防通信指令業務の共同運用開始（R6.4～）</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
地震や風水害などへの対策に満足している市民の割合	19.0%	25.7%	70%
災害に備えている市民の割合	27.7%	42.8%	75%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	44.2%	41.4%	13.5%
市職員	63.0%	28.9%	8.1%

# 大綱 2 防災・防犯



## 政策 2 犯罪を許さないまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな犯罪（インターネットを利用した犯罪、成年年齢引き下げに伴うトラブル）を追加</li> <li>・吹田警察署との情報連携の強化について追加</li> </ul>
施策	2-2-1 防犯力の向上 文章の順番を入れ替え 2-2-2 消費者意識の向上 「現状と課題」を受けて追加
施策指標 （ ）内は現行計画の指標・目標	【指標の置き換え】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯に関する講座の年間受講者数及び啓発授業の年間参加者数 1,500人                      （防犯に関する講座の年間受講者数 1,500人）</li> <li>・消費者向けの講座の年間受講者数及び高齢者に対する消費啓発の年間聴講者数 800人                      （消費者向けの講座の年間受講者数 700人）</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭防犯カメラの増設や青色防犯パトロール活動などによる犯罪認知件数が減少傾向</li> <li>・高齢者特殊詐欺など被害防止のための協力依頼</li> <li>・若者を狙った消費者トラブルを懸念</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
治安が良いと感じる市民の割合	42.8%	57.3%	70%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	52.8%	35.6%	10.9%
市職員	66.5%	29.7%	3.8%



# 大綱 3 福祉・健康



## 政策 1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり

現状と課題	修正なし
施策	修正なし
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【目標値の見直し（上方修正）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者のうち、要支援・要介護の認定を受けている人の割合 32%以下（32%）</li> <li>・受けている介護サービスに満足している利用者の割合 70%以上（見直し予定）（70%）</li> </ul> <p>【目標値の見直し（下方修正）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者生きがい活動センターの年間利用者数 検討中（6万人）</li> <li>・認知症サポーターの養成数（累計） 3.7万人以上（検討中）（5.6万人）</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における介護予防の推進</li> <li>・高齢者のICTリテラシー向上のための取組</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
何らかの社会参加をしている高齢者の割合	59.5%	65.5% (H30)	70%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	61.7%	28.3%	9.6%
市職員	79.7%	17.0%	3.3%

# 大綱 3 福祉・健康



## 政策 2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字の時点修正</li> <li>・啓発事業、就労支援ネットワーク会議など市の取組を追加</li> </ul>
施策	3-2-1 生活支援など暮らしの基盤づくり 「医療的ケアを要する障がい者を含め」を追加
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	【新規追加（その他理由）】 ショートステイ利用者数 462人
R1以降のトピックス	ICTを活用した啓発事業の実施

### 市民意識指標（主に関連するもの）

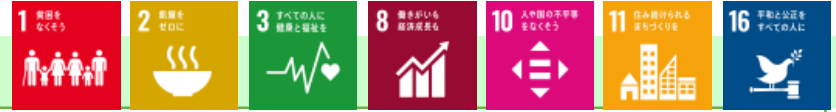
	H26	R4 (速報値)	R10目標
障がい者を支える福祉・保健・医療サービスに満足している市民の割合	13.7%	19.6%	23.5% (18%)

※R10目標を上方修正  
( )内は現行計画の目標

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	53.5%	35.8%	10.0%
市職員	66.1%	29.3%	4.6%

# 大綱 3 福祉・健康



## 政策 3 地域での暮らしを支えるまちづくり

現状と課題	地域共生社会について追加
施策	3-3-1 地域福祉の推進 「地域共生社会の実現に向け」を追加
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【新規追加（現行指標への補足指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員定数に対する委嘱人数の割合 100%</li> </ul> <p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援に関する協定締結地区数 34地区 (福祉避難所の支援を行うボランティアの人数 130人)</li> <li>・生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった割合 50% (生活困窮者に対する就労支援専門員が関わる支援により就労につながった人数 90人)</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核市移行により民生委員定数を市の条例定めることが可能に</li> <li>・問題が複雑化・複合化する中、コロナ禍で生活困窮者も増加し、相談支援体制の充実・関係機関との連携を強化</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
住み慣れた地域での生活を支える地域福祉に満足している市民の割合	12.7%	18.4%	24%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	47.8%	40.7%	10.7%
市職員	55.6%	39.9%	4.5%



## 政策 4 健康・医療のまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の平均寿命、健康寿命について追加</li> <li>・「意識せずとも自然と「健康」につながる環境の整備」について追加</li> <li>・市保健所のこの間の取組、きめ細かな地域保健サービスの提供、健康危機管理体制の強化、公衆衛生の一層の向上について追加</li> </ul>
施策	<p>※次ページ「保健所関連業務の位置づけ（案）」参照</p> <p>3-4-1 健康づくりの推進 ライフステージ別の課題に応じた取組、意識せずとも「健康」につながる仕組みづくりを追加</p> <p>3-4-4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進 データヘルスの推進、医薬基盤・健康・栄養研究所との連携、産学官民連携の取組の推進について追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【新規追加（その他理由）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結核接触者健康診断の受診率 98%以上を維持</li> <li>・食品関連事業者のうち、重点監視施設の監視実施率 100%</li> </ul> <p>【新規追加（現行指標への補足指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医等を持つ人の割合 60%</li> </ul> <p>【目標値の見直し（上方修正）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康増進広場など健都の施設を活用した運動プログラムや健康イベントなどの年間実施件 1,035件（180件）</li> </ul> <p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣を改善するつもりはない人の割合 男性：25.0%以下 女性：17.0%以下 （生活習慣改善に取り組む市民の割合 男性：58% 女性：65%）</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市保健所を設置し公衆衛生の向上に向けた施策を実施</li> <li>・市民に近い基礎自治体として感染症対策を実施</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
保健事業や健康づくりに満足している市民の割合	14.8%	20.0%	25% (18%)

※R10目標を上方修正（ ）内は現行計画の目標

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	55.3%	35.2%	8.8%
市職員	75.8%	22.1%	2.1%

# 保健所関連業務の位置づけ（案）

## 現 行

### 大綱 3 政策 4 健康・医療のまちづくり

施策	主な内容	関連する 主な保健所業務
1 健康づくりの推進	市民の主体的な健康づくり 検診などの保健サービスの 充実 吹田版ネウボラ	感染症予防事業 結核予防事業 精神保健事業 難病支援事業
2 健都を生かした健康 づくりと医療イノベーションの 促進	健都ならではの健康づくり 医療イノベーションの創出	—
3 地域医療体制の 充実	病診連携 在宅医療の推進 救急医療体制の確保	医事・薬事事業 地域医療推進事業

### 大綱 2 政策 1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

施策	主な内容 (保健所関連のみ)	関連する 主な保健所業務
1 危機管理体制の 充実	自然災害など様々な危機 事象に迅速かつ的確に対応	新型感染症対策事業

### 大綱 5 政策 1 環境先進都市のまちづくり

施策	主な内容 (保健所関連のみ)	関連する 主な保健所業務
3 安全で健康な生活 環境の保全と自然 共生の推進	良好な生活環境の維持、 環境衛生の充実	狂犬病予防・動物愛護 事業 生活衛生事業

## 見直し案

### 大綱 3 政策 4 健康・医療のまちづくり

施策	主な内容	関連する 主な保健所業務
1 健康づくりの推進	市民の主体的な健康づくり 検診などの保健サービスの 充実 <u>（「吹田版ネウボラ」は大綱 4へ移動）</u>	—
2 【新規】 公衆衛生の向上	感染症の予防 精神保健の向上 難病支援 健康危機管理体制の強化 食品衛生 環境衛生 動物愛護	感染症予防事業 結核予防事業 精神保健事業 難病支援事業 新型感染症対策事業 （感染症予防事業） 狂犬病予防・動物愛護 事業 生活衛生事業
3 地域医療体制の 充実	病診連携 在宅医療の推進 救急医療体制の確保 <u>将来の医療需要に見合った 医療提供体制の構築</u> <u>市保健所として病院機能の 分化・連携などを推進</u> <u>医療機関に対する監視・ 指導</u>	医事・薬事事業 地域医療推進事業
4 健都を生かした健康 づくりと医療イノベーションの 促進	健都ならではの健康づくり 医療イノベーションの創出	—

# 大綱 4 子育て・学び



## 政策 1 子育てしやすいまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前児童数の減少傾向を追加</li> <li>・問題の多様化、幅広いニーズに対応するための体制づくりを追加</li> <li>・吹田版ネウボラについて追加（大綱 3 から移行）</li> <li>・医療的ケアが必要な子供、ヤングケアラーがいる家庭への支援について追加</li> </ul>
施策	<p>4-1-1 就学前の教育・保育の充実 「必要に応じた」保育所等の整備と追加</p> <p>4-1-2 地域の子育て支援の充実 保護者の不安や負担の軽減に向けた取組を更に追加、所管に健康医療部を追加</p> <p>4-1-3 配慮が必要な子供・家庭への支援 現状と課題に合わせて追加、所管に健康医療部を追加</p>
施策指標 ( ) 内は現行計画の指標・目標	<p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域で子育てをしたいと思う親の割合 98% (「子育て支援コンシェルジュ」の年間利用者数 5,000人)</li> <li>・「ひとり親家庭就業相談」における就業支援の利用により就業につながったひとり親の割合 100% (「ひとり親家庭相談」における就業相談の利用により就業につながったひとり親の人数 50人)</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核市移行に伴うひとり親家庭への支援事業の再構築、母子父子寡婦福祉資金貸付事業、小児慢性特定疾病児への相談支援などを実施</li> <li>・待機児童数ゼロ</li> <li>・児童館が6ブロック各2館ずつの整備が完了</li> <li>・子ども医療費対象年齢の拡充</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	62.8%	27.2%	9.3%
市職員	77.6%	18.0%	4.5%

# 大綱 4 子育て・学び



## 政策 2 学校教育の充実したまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「IoTやAIなどさまざまな先端技術を駆使した課題解決が求められるこれからの社会において持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育む必要」について追加</li> <li>・教職員を支える組織体制と仕組の構築について追加</li> <li>・学校施設の築年数について具体的に追加</li> </ul>
施策	<p>4-2-1 学校教育の充実 教育内容の充実の順番を入れ替え、教職員が本来業務に集中できる働きやすい環境について追加</p> <p>4-2-2 学校教育環境の整備 インクルーシブ教育の推進に向けた教育環境の整備を追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【指標の置き換え】</p> <p>小・中学校の全てのトイレに対する改修率 80% (小・中学校のトイレ改修の実施率 100%)</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核市移行により府費負担教職員の研修に関する事務が移譲</li> <li>・コロナ禍によりGIGAスクール構想に基づくDX推進が加速</li> <li>・「すいたGRE・ENスクールプロジェクト」として、SSWの配置時間の拡充、専任のスクールカウンセラーやいじめ対応支援員の増員、いじめ防止相談ツール「マモレポ」などの取組を推進</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%
学校教育に満足している市民の割合	20.9%	25.6%	50%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	52.4%	35.4%	11.4%
市職員	63.6%	31.8%	4.6%



## 政策 3 青少年がすこやかに育つまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留守家庭児童育成室の職員体制の確保について追加</li> <li>・地域での青少年の見守り活動、非行防止に向けた指導について削除し、「青少年を支える担い手の確保が困難」との現状を追加</li> </ul>
施策	<p>4-3-1 青少年の健全育成 「ひきこもりなど」を追加</p> <p>4-3-2 放課後の居場所の充実 留守家庭児童育成室の児童の確実な受け入れについて追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【新規追加（現行指標への補足指標）】 青少年相談から社会参画につながったケース数 72件</p> <p>【指標の置き換え】 留守家庭児童育成室の待機児童数 0人 (留守家庭児童育成室の受入児童数 4,600人)</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の相談が年々複雑化・複合化</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%

### 目標への評価（R4）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	51.0%	38.0%	10.1%
市職員	61.2%	35.1%	3.7%





## 政策 4 生涯にわたり学べるまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習成果の地域への還元について具体的に追加</li> <li>・図書館による読書活動の支援について追加</li> </ul>
施策	4-4-1 生涯学習活動の支援 現状と課題に合わせた表現に変更
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【指標の文言修正】 地区公民館の年間利用者数(オンラインによる講座受講者を含む) 46.6万人</p> <p>【新規追加(その他理由)】 図書館資料の年間貸出総数 440万点</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講座の実施</li> <li>・健都ライブラリー、まちなかリビング北千里のオープン及び電子図書サービスの開始</li> </ul>

### 市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4 (速報値)	R10目標
安心して子育てができる環境にあると思う世帯の割合	62.3%	56.0%	75%
一年間で何らかの学習活動を行った市民の割合	—	39.3%	50%

### 目標への評価 (R4)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	44.9%	43.1%	11.4%
市職員	64.7%	31.5%	3.8%



## 政策 1 環境先進都市のまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域の年間温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた脱炭素社会への転換について追加</li> <li>・地球温暖化に伴う熱中症による健康被害、災害廃棄物の処理について追加</li> <li>・本市の環境政策の基本理念「もったいない精神」を追加</li> </ul>
施策	5-1-1 施策名「低炭素社会への転換の推進」 → 「脱炭素社会への転換の推進」に変更 熱中症による健康被害回避に向けた取組を追加
施策指標 ( ) 内は現行計画の指標・目標	<p>【指標の置き換え】 市域の年間温室効果ガス排出量 1,092千t-CO2 (市域の太陽光発電システム設備容量 3.5万kW)</p> <p>【目標値の見直し（上方修正）】 「環境美化推進団体」の団体数 60団体（40団体）</p> <p>【削除】 「マイバッグ」の持参率 80%</p>
R1以降のトピックス	NATSによる「地球温暖化対策の自治体間連携に関する基本協定」の締結

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
快適な生活環境の確保に満足している市民の割合	26.6%	34.4%	40%
ごみの発生抑制・排出抑制やリサイクルなどごみ減量の取組に満足している市民の割合	25.1%	29.9%	40%

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	44.2%	42.0%	13.1%
市職員	61.8%	30.7%	7.5%

# 大綱 6 都市形成



## 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の順番を入れ替え</li> <li>・「土地区画整理事業」を「都市計画事業や民間開発の規制・誘導」に修正</li> <li>・「都市公園の老朽化への対応」を「都市公園の整備・管理を適切に行う」に修正</li> <li>・「空き家の適正管理」を「共同住宅をはじめとした既存の建築物」の適正管理に修正</li> </ul>
施策	<p>6-1-2 良好な住環境の形成 「マンションの適正な維持管理への支援」を追加</p> <p>6-1-3 みどりの保全と創出 みどりの保全方法、公園の維持管理・運営について具体的な取組を追加</p>
施策指標 ( ) 内は現行計画の指標・目標	<p>【目標値の見直し（上方修正）】 まちづくりのルール（地区整備計画）の策定地区数〔面積〕 85地区〔300ha〕（75地区〔230ha〕）</p> <p>【新規追加（現行指標への補足指標）】 耐震性が不明な建築物（多数の者が利用するもの）の数 0棟</p> <p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倒壊の危険がある特に状態の悪い空家等（特定空家等相当）の数 解消（空き家のうち腐朽・破損のあるものの割合 10%）</li> <li>・都市公園の面積 328ha（公園などの面積 361.6ha）</li> </ul> <p>【新規追加（その他理由）】 30年以上の長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定しているマンション管理組合の割合 75%</p> <p>【削除】「みどりの協定」に基づく取組などを行う団体数 60団体</p>
R1以降のトピックス	中核市移行に伴う屋外広告物条例の施行

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	66.6%	70%
みどりが豊かでまちに愛着や誇りを感じる市民の割合	61.4%	66.9%	67%

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	66.1%	24.2%	9.0%
市職員	79.7%	15.9%	4.5%

# 大綱 6 都市形成

## 政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり



現状と課題	公共交通を取り巻く環境の厳しさについて追加
施策	<p>6-2-2 水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「より効果的な調査、点検等により」水道施設を適切に維持管理</li> <li>・施設の耐震化に加え、水道システムの強靱化に向けた計画的な更新、水道施設の再構築を追加</li> </ul> <p>6-2-3 下水道の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な視点での老朽化対策を追加</li> </ul> <p>6-2-4 交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能で利便性・安全性の高い公共交通ネットワークの実現を追加</li> </ul>
施策指標 ( )内は現行計画の指標・目標	<p>【指標の置き換え】</p> <p>雨水管等整備延長 8.3km (雨水排水施設の整備率 (1時間に約50mmの降雨に対応) 55%)</p> <p>【目標値の見直し (下方修正)】</p> <p>自転車通行空間の整備延長 25km (40km)</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの試験運行による交通不便地域の解消に向けた取組の実施</li> <li>・片山浄水所水処理施設更新工事の完成</li> </ul>

### 市民意識指標 (主に関連するもの)

	H26	R4 (速報値)	R10目標
まちなみが美しいと感じる市民の割合	58.6%	66.6%	70%
鉄道・バスなど公共交通網の便利さに満足している市民の割合	54.5%	60.2%	67%

### 目標への評価 (R4年度)

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	70.6%	20.3%	8.4%
市職員	87.6%	10.8%	1.6%

# 大綱 7 都市魅力

策定後の主な動向  
2 コロナ感染拡大の影響



## 政策 1 地域経済の活性化を図るまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症を含む災害への備え、デジタル化への対応を追加</li> <li>・働く意欲のある全ての人々が多様な働き方ができる環境づくりに修正</li> <li>・恒常的な人材不足の理由として「少子高齢化による労働力人口の減少」を追加</li> </ul>
施策	7-1-2 就労と働きやすい環境づくりへの支援 「現状と課題」に応じた表現を追加
施策指標 ( )内は現行計画の目標値	<p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の事業者数 11,700事業所 (開業率と廃業率の差 3ポイント)</li> <li>・JOBナビすいたの利用者数 4,000人 (JOBナビすいたを活用した年間就職者数 630人)</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響を受けた事業者支援</li> <li>・近隣中核市（NATS）による労働相談窓口の相互利用</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
商工業の振興に満足している市民の割合	10.8%	17.2%	20% (15%)

※R10目標を上方修正  
( )内は現行計画の目標

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	41.6%	45.6%	12.1%
市職員	54.2%	39.6%	6.2%

# 大綱 7 都市魅力

策定後の主な動向  
2 コロナ感染拡大の影響



## 政策 2 文化・スポーツに親しめるまちづくり

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生社会の実現に向けた取組を追加</li> <li>・スポーツや運動が果たす役割を明確化</li> </ul>
施策	<p>7-2-1 文化の振興 多文化共生を推進すると追加</p> <p>7-2-2 文化財の保存と活用 「博物館の有する多様なコンテンツのデジタル化」を追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の目標値	<p>【新規追加（現行指標への補足指標）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の文化事業に出演・出展した市民の延べ人数 2,400人</li> <li>・博物館ホームページのアクセス数 4.1万件</li> </ul> <p>【新規追加（その他理由）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人等支援施策において支援した延べ人数 100人（差し替え予定）</li> </ul> <p>【目標値の見直し（下方修正）】</p> <p>スポーツイベントやスポーツに関する講座などへの年間参加者数 7.5万人（9.5万人）</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メイシアターリニューアルオープン</li> <li>・コロナ禍におけるデジタルコンテンツ、動画等の活動支援</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
芸術文化を親しめる環境として満足している市民の割合	15.0%	17.1% (H30)	20%
成人の週1回以上のスポーツ実施率	36.7%	35.7% (H30)	50%

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	58.3%	33.2%	8.0%
市職員	74.2%	23.4%	2.4%

# 大綱 7 都市魅力



## 政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

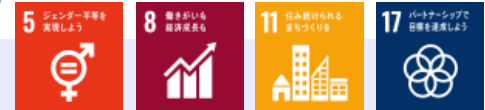
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2025大阪・関西万博」を活用するなどした万博記念公園の魅力向上等を追加</li> <li>・シティプロモーションビジョンについて追加</li> <li>・5つの大学があることによる魅力向上について追加</li> </ul>
施策	<p>7-3-1 魅力の向上と発信 「多様な手法による効果的な魅力の発信」を追加</p> <p>7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり 大学によるまちづくりへの「貢献」を追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の目標値	<p>【指標の置き換え】 すいたフェスタへの参加者数（来場者数） 2万人 （吹田まつりへの協賛・協力団体数 600団体）</p> <p>【目標値の修正（上方修正）】 大学との連携による事業やイベントなどの年間実施回数 160回（150回）</p> <p>【新規追加（その他理由）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すいたんTwitterなどSNSフォロワー数 2.5万人</li> <li>・連携授業等への参加を契機に市政への参画意欲が向上した学生の割合 50%</li> </ul>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Inforestすいたのリニューアルオープン</li> <li>・「すいたフェスタ」の開催</li> </ul>

### 市民意識指標（主に関連するもの）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
市の魅力を伝える取組に満足している市民の割合	7.5%	13%	15%

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	67.7%	26.0%	5.6%
市職員	80.4%	16.7%	2.9%



## 政策 1 行政資源の効果的活用

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の順番を入れ替え</li> <li>公共施設の最適な整備・配置・維持保全について追加</li> <li>中核市移行による広域連携、自治体運営等について追加</li> <li>職員の人材育成・働きやすい環境づくりに、「SDGsゴールを見据えた行政課題」「ワーク・ライフ・バランスの実現」を追加</li> <li>デジタル・トランスフォーメーション（DX）について追加</li> </ul>
施策	<p>8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進 中核市としての権限の発揮、業務プロセスの改善について追加</p> <p>8-1-2 公共施設の最適化 所管を都市計画部に変更</p> <p>8-1-4 ICTの利活用 自治体DXの推進について追加</p>
施策指標 ( )内は現行計画の目標値	<p>【指標の置き換え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合 20%（財政調整基金残高 100億円）</li> <li>公共施設（一般建築物）の改修や建替えをした件数 130件（一般建築物の個別施設計画の策定が完了した割合 100%）</li> <li>外部派遣研修参加者数 700人（職員1人当たりの年間研修受講回数 7回）</li> </ul> <p>【新規追加（その他理由）】</p> <p>行政手続のオンライン申請件数 100,000件</p>
R1以降のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核市移行に伴う包括外部監査の実施</li> <li>NATS連携</li> <li>コロナ禍の影響によるDX推進及びキャッシュレス決済の導入</li> <li>行政サービスの効率化・迅速化を推進</li> </ul>

### 市民意識指標（市全体）

	H26	R4 (速報値)	R10目標
今住んでいるところが気に入っている、住み続けようと思っている市民の割合	57.8%	61.4%	70%
市の窓口サービスに満足している市民の割合	16.3%	17.6%	60%

### 目標への評価（R4年度）

	そう思う どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	そう思わない どちらかと言えば そう思わない
市民	39.2%	46.2%	14.1%
市職員	52.6%	34.8%	12.6%